



SDGs達成に向けた取組みチェックリスト

更新

事業者名: 株式会社 大住緑栄

基本項目は25項目全てに、チャレンジ項目は25項目のうち5項目以上に具体的な取組みを記載してください。  
 「企業」や「社内」とあるものは、NPO法人や個人事業主等はそれぞれの形態に応じて、読み替えてください。  
 【予定】の項目は1年以内に【〇年〇月実施】として、具体的な取組みを記載のうえ、提出してください。

(様式第2号)

基本項目記入数

25

チャレンジ項目記入数

12

分類	No.	チェック項目	基本	チャレンジ	具体的な取組み (※事業者が記載する欄)	主なSDGs(17のゴールと169のターゲット)																	
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	
環境	22	【環境汚染予防】 ・廃棄物や有害化学物質の適切な管理、及び処理に取り組んでいる。	●		・産業廃棄物は排出業者として委託契約書を交わし、マニフェスト伝票を作成し適切な管理及び処理に取り組んでいる。			3.9			6.3				11.6	12.4		14.1	15.1				
	23	【エネルギー】 ・電力やガソリンなど、自社のエネルギー使用量を把握し、その削減に取り組んでいる。	●		・炭削くんを用いてエネルギー使用量を算出し、LED製品の使用を徹底し削減に取り組んでいる。 ・事務所の不要な照明の消灯により節電に取り組んでいる。 ・現場への往来時は、ルートの効率化を考慮している。 ・ガソリンの使用量を把握している。							7.3					13						
	24	【温暖化対策】 ・自社の温室効果ガスの排出量を把握し、排出の抑制に取り組んでいる。	●		・環境省が推奨する空調機器の温度に基づいた温度設定管理に取り組んでいる。 ・炭削くんを用いて温室効果ガスの排出量を把握している。 ・社用車、ダンプトラック等は買い替えの際低燃費やハイブリッド車のもを購入している。			2.4				7.2 7.3 7.a				12.4	13	14	15				
	25	【生物多様性】 ・自社活動が環境(生物多様性や生態系等)に悪影響を及ぼさないように配慮している。	●		・燃料等の給油の際はオイルシート等を必ず用いて、環境に悪影響を及ぼさないように配慮している。 ・森-川-海を一つと考える環境保全草刈ボランティア活動に参加している。 ・作業場に昆虫等の住処、産卵場所として現場で出た木屑等を用いて作っている。					6.6									14	15			
	26	【効率的な資源利用】 ・ごみを減らし、資源を有効的に繰り返し使うため、発生抑制(リデュース)、再利用(リユース)、再生利用(リサイクル)に取り組んでいる。	●		・文書は可能な限りPC保管、電子化しペーパーレス化を推進するとともに裏紙の利用、両面コピーを推進している。 ・現場で出た木屑等は木質バイオマス資源として効率的な資源利用を行っている。									9.4			12.2 12.4 12.5		14.1	15			
	27	【水の管理】 ・熊本の水資源の質と量の保全に取り組んでいる。	●		・消毒や除草剤等の作業には雨水を貯めて利用している。 ・事業所内で洗い物をするときは水をこまめに止める等して節水を推奨している。						6.1 6.3 6.4 6.6 6.b					11.5			14.1 14.2 14.3	15		17	
	28	【環境に配慮した製品等】 ・環境に配慮した製品の購入や製品の開発・製造に取り組んでいる(グリーン購入、リサイクル製品認証等)。	●		・コピー用紙やファイルなど再生用紙を活用している。 ・従業員一同勉強会等を通して環境に良い製品を学び、購入の際はリサイクル製品認証のものを購入するなどしている。										9.4		12.4 12.5	13	14	15			
	29	【食品ロスの削減】 食品ロスの削減に取り組んでいる。		●	・規格外の商品の購入や、スーパーでの前取りの推奨を社員に啓発することで、フードロス削減に取り組んでいる。		1	2				6.4						12.3		14	15		17
	30	【緑の安全管理】 ・壁面緑化や植栽など緑の創出と保全、管理に取り組んでいる。		●	・事務所や作業場の敷地内の植栽に取り組んでいる。 ・地域の緑地活動に参加している。												11.6 11.7		13.1 13.3		15		17
	31	【エネルギー効率の見直し・再生可能エネルギーの利用】 ・高効率機器の導入等によるエネルギー使用率の改善または再生可能エネルギーの利用に取り組んでいる。		●	・作業場や現場で出た木屑等を産業廃棄物として処分せず、化石燃料の代替エネルギーの木質バイオマスとして処分している。								7.1 7.2 7.3 7.a		9.4		11.5		13.1 13.3				
	32	【森林資源の循環利用に向けた取組み】 ・「伐って、使って、植えて、育てる」の持続的な森林利用への取組みを推進している。		●	・杉やヒノキ等の用材木の伐採から植栽まで行っている。							6				9.4	11.3 11.4 11.5	12.2	13		15		
	33	【植林等の取組み】 ・植林等の森林整備活動に取り組んでいる。		●	・森林を守るために鹿ネット等を用いて整備を行っている。 ・工事現場の清掃活動を積極的に行っている。							6.1 6.3 6.6					11.3 11.4 11.5	12.2	13		15		
34	【海洋ごみ】 ・環境中で分解しにくいプラスチックの使用削減等、海洋ごみ、海洋汚染の防止削減に貢献している。		●	・会社で出るペットボトルなどプラスチック製品は洗って分別し、資源ごみとして処理するほか、ペットボトルのキャップは発展途上国の子どもたちにワクチンを提供している。													12.2 12.5		14				
35	【環境に配慮した交通手段】 ・電車やバスなどの公共交通機関の利用や、電気自動車や水素自動車などの環境にやさしい自動車の使用を促進している。		●	・排ガス低減のため、現場へ乗り合わせの移動を行っている。 ・建設機械、ダンプトラック、社用車等を新しく買い替える際は、環境に優しい低燃費のものに切り替えている。											9.4		11.2		13.1 13.3				
36	【2050年CO2排出量実質ゼロへの取組み】 ・2050年CO2排出量実質ゼロを目指し、計画的にCO2削減に取り組んでいる。		●									7.1 7.2 7.3 7.a		9.4		11.6 11.a	12.8	13				17.2	

